

以心拡心

香川県立丸亀城西高等学校 2年 田口千夏

0. はじめに

本論文は SNS を使用することにより、私たち高校生にとってどのような影響があるのかをとりあげ、利点と欠点についてまとめ、今後どのように使用すべきなのかを考察する。

現在、身の回りで使用されている SNS は主に LINE、Twitter、Instagram などがある。私は、この 3 つ全てを使用している。LINE は友人や家族との会話に使用し、Twitter、Instagram は写真や言葉を用い、その日あったことなど、みんなに発信したいことなどを投稿している。

私が携帯電話を持ち始めたのは、中学 1 年生の 5 月だ。姉は高校 1 年生からに比べ、すごく早くから持ち始めた。すぐに LINE をインストールし、家族、友人と連絡を取るために使用した。SNS を始めた理由は、「みんながやっているから」といった軽い気持ちからだ。はじめは LINE のみだったが、中学、高校と進学するうちに Twitter、Instagram と増えていった。私の周囲も同じように始めたのだろうと考えられる。私は SNS と聞いて「便利」、「危険」、「依存」の 3 種類の言葉をイメージした。この論文では、この 3 つのキーワードに沿い、話を展開していく。

1-1. SNS とは

インターネットを介して人間関係を構築できるスマホ・パソコン用の Web サービスの総称だ。古くはブログや電子掲示板でもそうした機能の一部は実現できていたが、SNS では特に「情報の発信・共有・拡散」といった機能に重きを置いているのが特徴だ。また、SNS は Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略で、ソーシャル (社会的な) ネットワーキング (繋がり) を提供するサービス、という意味になる。

1-2. インターネットと SNS のちがいは

インターネットとは膨大な数のコンピュータ同士を繋いで情報通信を行うネットワーク技術の総称であり、例として、Google や Yahoo などの検索エンジンや、検索して出てきた WEB サイトをブラウザで見たりする際に使用されている技術のことを言う。その他にも、電子メールや Skype などもインターネットを基盤にしたサービスに含まれる。

つまり、SNS はインターネットという技術を用いて実現できるサービスの 1 つであり、インターネットという技術があって、そこにパソコンやスマホの普及が合わさり、そして人々のコミュニケーションを活性化させてくれるものである。

1-3. 身の回りのSNSについて

• Face book

世界で14.5億人以上が毎日使う

国内ユーザー…2,800万人

コンテンツの種類…テキスト、カルーセル、リンク、
画像、動画、LIVE対応、ストーリー
(24時間限定)

特徴…コンテンツの豊富さ、フォーマルな場、ターゲット
の精度



• Twitter

拡散の速さは随一！ゆるいつながりがウリ

国内ユーザー…4,500万人

コンテンツの種類…テキスト（英数字は最大280文字）、
リンク、画像、動画、LIVE対応

特徴…リアルタイム性、拡散性の期待、ハッシュタグ



• Instagram

8億人を達成！拡大し続けている

国内ユーザー…2,000万人

コンテンツの種類…画像、カルーセル、動画、ストーリーズ、ストーリーズ
でLIVE配信可能

特徴…写真や動画がメイン、世界観の重要性、アクティブ
ユーザーが多い、ハッシュタグ



• LINE

7,000万人突破！徐々に地域を拡大中。

今や生活において必要不可欠なツールに

国内ユーザー…7,500万人

コンテンツの種類…テキスト、画像、リンク、動画、
LINE LIVEでLIVE配信可能

特徴…メッセージとタイムラインの2つをもつ、トークや
通話などモバイルでのアクティブユーザーが多い、
スタンプが豊富



2. SNSにおける「便利」

便利とは目的を果たすのに都合のよいこと。あることをするのに重宝で、役に立つこと。

以下では家族に SNS の便利さについて聞いたことをまとめる。 私は SNS を使用している際に便利だと思うときは、素早く連絡先を知っている人と連絡が取れ、急用のときに、既読が付いているかいないかで、読んだことを判断でき、便利だと思う。(LINE)

母は個人的な情報交換の連絡がすぐにできる点が便利だという。(LINE)

姉はすぐに連絡先を交換でき、個人でも連絡をやり取りでき、グループなどの機能を使うと一度に多くの人へ文章だけでなく、画像や動画、音声も送ることができるというところが便利だと言った。(LINE)

私を含め、3人に SNS の便利な所とはという質問を行ったが、3人とも LINE について答えた。しかし、身の回りでは LINE と同じくらい、SNS として Instagram や Twitter も使用されている。どうして LINE 以外の SNS を使用しているのかについての疑問が生まれた。

○疑問点

・ Instagram や Twitter を使用する理由とは

Instagram では主に写真を投稿している傾向がある。旅行に行った写真や花火の写真など、綺麗に思ったこと、綺麗に撮れたものを発信しているイメージだ。Twitter では写真も投稿できるが、メインは文章のように感じる。また、Twitter ではよくリプというように投稿している相手にメッセージを送信しているのもよく見られる。

このことから、LINE に比べ Instagram や Twitter では個人への発信ではなく、自分のことを数多くの人へ発信することが目的のように思われる。また、この2つの SNS では実際に会ったことのない人とでも、同じ趣味などの共通点で繋がることできる。

私も実際に、しばらく会っていない古い友人と Twitter で繋がることができたり、姉は好きなアーティストが同じの実際に会ったことがない人と Twitter 上で繋がり、コンサートの時に会い、グッズの交換をしたりもしている。

→便利といった使い道というより発信や繋がりといったことを目的としている人が多い。

3. SNS における「危険」

・危険とはあぶないこと

・生命や身体への損害、事故・災害などが生じる可能性のあること

近年、SNS がきっかけでの事件が増えているように思う。そこで、過去の SNS がきっかけで起こった事件について調べた。

SNS を使い事件に巻き込まれた 18 歳未満の子供は昨年 1 年間で 1,813 人に上った。前年から 77 人増え、5 年連続増加しており、2008 年以降で最多となった。Twitter での被害が 695 人 (前年比 249 人増)、LINE が 105 人 (同 19 人減) となっており、法改正で出会い系

サイトでは18歳未満の利用が禁止されているにもかかわらず、SNSを通じての事件は増えている。

SNSで知り合った人に殺されるといった事件をよく聞くが、どうしてそんなことになるのかという疑問が生まれた。

○疑問点

・ どうして SNS で知り合った人は危ないのか

InstagramやTwitterでは実際に会ったことのない人と出会うことができる。しかし、その会おうとしている人が、なりすましなどのように、自分が想像しているような人とは全くの別人かもしれないことがある。しかし、被害にあっている人は、その人をSNSでのやり取りだけで、いい人だと信じ込んで、会いに行ってしまう、殺されるなど、被害にあっているのだ。また、コンサートなどのチケットやグッズなどの転売や交換などをTwitterで行っているのもよく見られる。姉の友人がTwitterで見つけた人からコンサートのチケットを買った際に、お金を振り込んだにもかかわらず、急に連絡が取れなくなり、チケットも送られなかったという。

→SNSでのやり取りだけで簡単に人を信じてしまうから、相手も簡単にだませると思い、その後も嘘のプロフィールで、なりすましている可能性があるから、特定されにくい。

4. SNSにおける「依存」

・ 依存とは他に頼って存在、または生活すること

SNS依存とは毎日SNSを見ていなければならないことを言う。私は依存していないと思っていたが、今回調べてみて、自分も依存しているのではないかと考えるようになった。用もないのに、InstagramやTwitterで、みんなの投稿を確認してしまい、LINEにも頼り切ってしまう。LINEが無ければ連絡が取れないという人も数多くいる。私の母もLINEが生活の一部となっているので、依存といえるだろう。部活動の連絡をLINEのグループで行っており、LINEが無くなってしまうと、情報が全く入ってこなくなる。そこで、どうしてこんなにもSNSが生活の一部になってしまったのかという疑問が生まれた。

○疑問点

・ どうして SNS (LINE) が生活の一部になったのか

LINEは私の周囲の人、ほとんど使用している。クラスの連絡、部活動、家族、全てのLINEグループが存在する。それにより連絡事は全てそのグループで行われる。

→SNS (LINE) が便利なのが故に数多くの人々が利用し、普及しているため、連絡手段として多くの人々が利用している。

5. 結論

この論文では3つの視点についてSNSを見つめなおした。長所と短所があり、自分でしっかりと判断し使わなければならないのがSNSと考える。

近年では食事の際の店を予約する時も、美容室を予約する時も、携帯電話で予約することができる。また、姉は大学受験もインターンシップの参加もインターネットで行っていた。身の回りのたくさんのものが、電子化が進んでいる。

このように、数多くのものが電子化されている今、携帯電話、SNSは必要不可欠なものであると考える。しかし、自分にとって、どこまでがプラスになるものなのかを考えて、使用していくべきだと考える。

6. 今後の展望

これから、ますます電子化が進み、便利になる世の中だと考える。そこで、私は取捨選択が大切だと考える。SNSでは代表的なLINE, Instagram, Twitterの3つだけでなく、最近ではTikTok, SHOROOMなども流行している。使うことは悪いことではないが、個人情報を出させすぎないことなど、自分の居場所や、通っている学校などがすぐに特定できないようにして、安全に使用しなければならない。

■参考文献

出典：<https://fasab.files.wordpress.com/2015/04/facebook-logo.jpg>

出典：

<https://yt3.ggpht.com/-hwLeSKv6yjc/AAAAAAAAAI/AAAAAAAAAA/fC8cnQdl3ps/s900-c-k-no-mo-rj-c0x0xffffffff/photo.jpg>

出典：<https://www.zdnet.de/wp-content/uploads/2017/06/instagram.jpg>

出典：<http://www.toha-search.com/it/sns.htm>

出典：<https://blog.comnico.jp/we-love-social/sns-users>

出典：<http://www.toha-search.com/it/sns-internet.htm>

出典：<https://dictionary.goo.ne.jp/jn/51326/meaning/m0u/>

出典：<https://www.asahi.com/articles/ASL4T4W2WL4TUTIL02G.html>

出典：<https://dictionary.goo.ne.jp/jn/11960/meaning/m0u/>